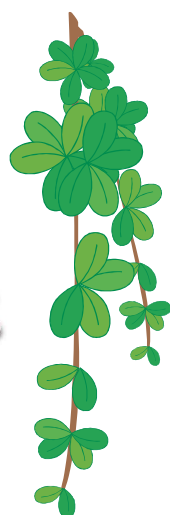


## 7月の緑化 ワンポイントアドバイス



7月は夏の強剪定についてです。

春から伸び始める若葉に、真夏の日差しを乗り切るための、紫外線除け（クチクラ層）が少しずつ出来あがってきます。



新芽が伸びすぎたからといって、強剪定をしますと、クチクラ層が発達している葉を落とすことになります。

懐（内側）の葉には薄い層しかなく、真夏の日差し暑さに対応できず、焼け落ちるか、葉の周りが茶色になってしまいます。また、幹枝が直接日差しにさらされ、水分の温度上昇により、形成層が破壊され、幹焼けの原因にもなります。



わからないこと、詳しく知りたいことがありましたら、緑の相談所の樹木医までお気軽にご相談ください。